

医療分野

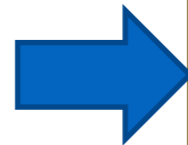
保険外併用療養の拡充
病床規制の特例による病床の新設・増床
外国人医師の診察業務の解禁

慶應義塾大学病院
病院長 竹内 勤

○ 東京が誇る創薬・再生医療分野等の**世界最高水準の技術**について、**保険外併用療養特例**による先進的な医療の**実用化の促進**

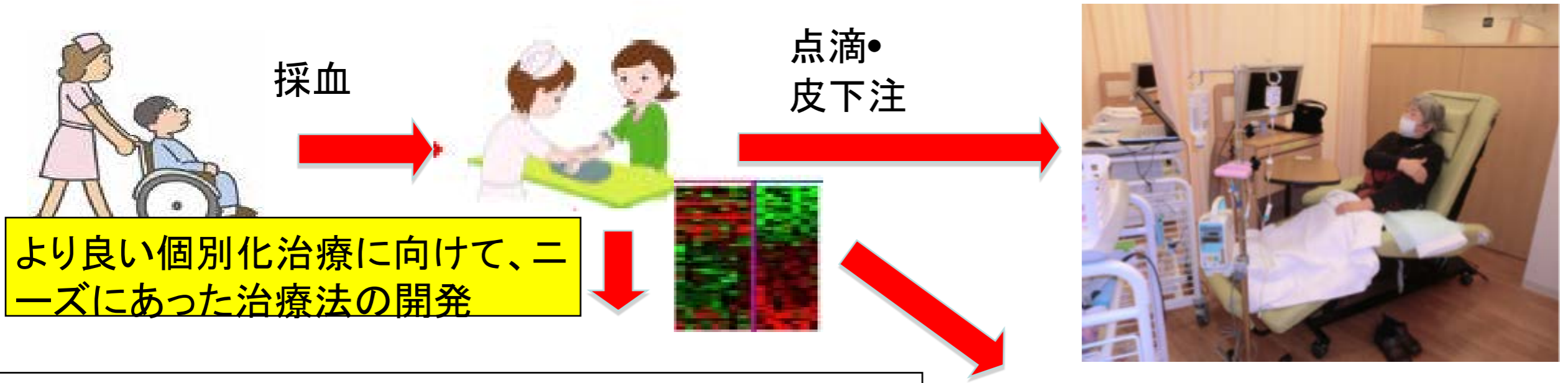
保険外併用療養に関する特例

○世界最高水準の高度の医療であって、国内において、先進的な医療の実用化の促進



○実施病院：**慶應義塾大学病院**（新宿区）
○事業内容：米国、英国、フランス、ドイツ、カナダ又はオーストラリアにおいて承認を受けている医薬品等であって、日本においては**未承認又は適応外のものすべてを対象**として、保険外併用療養に関する特例を活用し、**スピーディーに先進医療を提供**
（例）クローン病や膠原病等の治療薬など

慶應義塾大学病院における先進的な医療の取組例



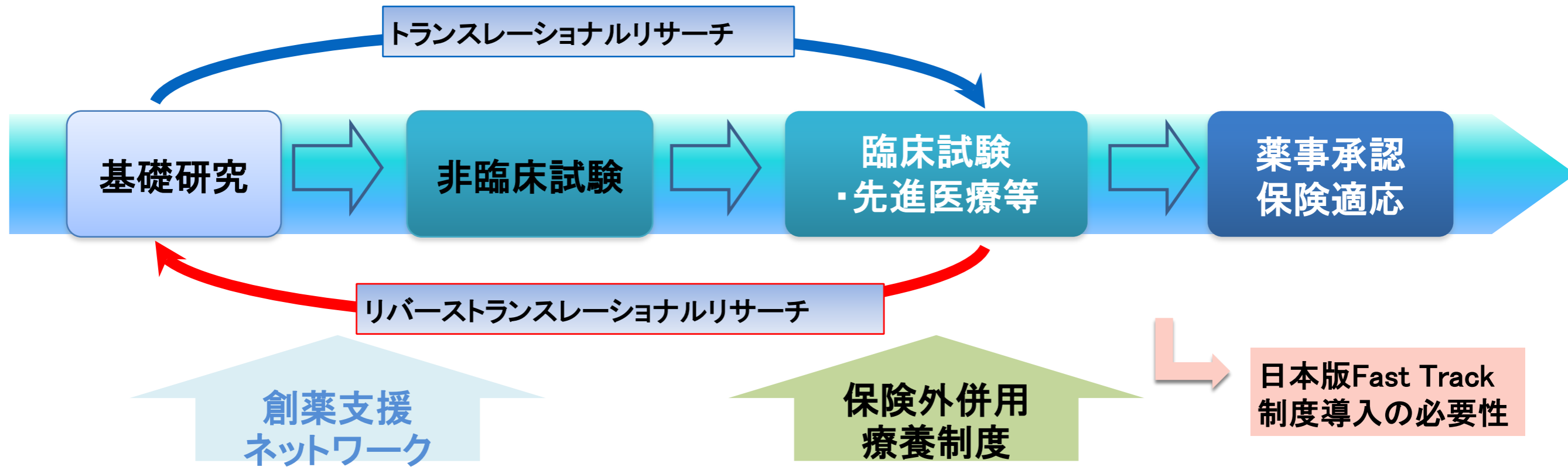
新たな有効性・安全性予測法の開発や新規シーズ探索

- 新規バイオマーカー、マルチオミックスによる有効性予測（治験複数実施中、DNAチップ先進医療申請準備）
- MTX-PG濃度測定による安全で有効なテーラーメイド医療

生物学的製剤による免疫難病治療

- 国際共同治験、早期探索臨床試験 複数実施中
- リツキサンによる天疱瘡先進医療申請準備中

慶應義塾大学病院における新薬・新技術創出に向けた取組

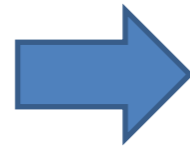


- 基礎研究を臨床研究につなげる橋渡し研究については、慶應義塾大学病院独自の取組として
↳ 総合医科学研究センターにおける産学連携事業の推進とシーズの探索
を12年にわたり行っている。
- 加えて、慶應義塾大学医学部・病院は、臨床試験の現場で得られたデータの分析、新規診断方法や新薬の効果・副作用を基礎研究にフィードバックし、「基礎医学・臨床医学一体型の研究」(リバーストランスレーショナルリサーチ)を実践してきた。
- 基礎的研究成果を革新的医薬品として実用化に導くに当たり、保険外療養費制度を用いることで、患者さんにとって迅速に使える仕組みが必要である。
- この仕組みにおいて、質を担保しながら集められたデータを保険適用に係る評価に活用し、迅速に保険適用へつなげることで、全国に普及させることを目指す。
- iPS細胞を用いた脊髄損傷等の難治疾患への応用を目指す。
- 米国FDAのFast Track制度の導入により、早期薬事承認を目指すための規制緩和が必要である。

- 東京が誇るがん医療分野の**世界最高水準の技術**について、**病床特例**による**実用化の促進**
- 国際的ビジネス拠点プロジェクト整備による訪日外国人増加と併せた**外国人医師特例**による外国人生活環境の充実

病床規制に係る医療法の特例等

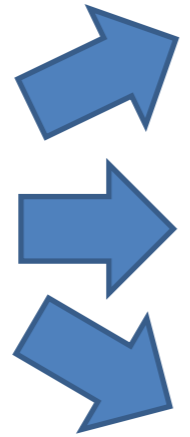
○世界最高水準の高度の医療であって、国内において、その普及が十分でないものを提供



- 実施病院：**がん研有明病院**（江東区）
- 事業内容：**世界最先端のがん医療技術であるダヴィンチ手術**について、**前立線がん**に加え、**多様な臓器がん**（大腸、食道がん等）**へと応用**（病床10床を整備）

外国医師の特例

○外国医師による外国人一般に対する診療特例



- 実施病院：**聖路加国際病院**（中央区）及び**聖路加メディカルセンター**（千代田区）
- 事業内容：**米国医師又は英国医師等を新たに受入れ**、外国人一般に対する診療を実施

- 実施病院：**がん研有明病院**（江東区）
- 事業内容：**米国医師又はシンガポール医師等を新たに受け入れ**、外国人一般に対する診療を実施

- 実施病院：**国際医療福祉大学三田病院**（港区）、**順和会山王病院**（港区）、**順和会山王メディカルセンター**（港区）
- 事業内容：**米国医師、英国医師又はフランス医師等を新たに受け入れ**、外国人一般に対する診療を実施